

平成26年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	「歩いて楽しいまちなかゾーン」の推進		
予算額	40,500千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	建設企画部建設企画課(222-3551)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>京都市では、「人が主役の魅力あるまちづくり」を推進し、脱「クルマ中心」社会を目指すため、平成22年1月に「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定した。</p> <p>この戦略において、都心の細街路については、安全な歩行空間を可能な限り広げて、地域の生活者や来訪者が安心して回遊することのできる道路とし、自動車は歩行者等に配慮してゆっくり走ることを基本的な考えとしている。</p> <p>本事業は、歩道整備が困難な都心の細街路において、自動車走行速度を低減させ、安全でゆとりのある歩行空間を創出するとともに、通行空間の分離による自転車通行空間の整備や歩行者の円滑な通行の確保を図るため、幹線道路に囲まれた地域を「歩いて楽しいまちなかゾーン」と設定し、都市計画局と建設局等が連携して、車線幅員の狭小化（路側帯の拡幅）、自転車通行部分の明示、ゾーンの出入口への看板設置等を実施するものである。</p> <p>【事業概要】</p> <p>平成26年度の建設局の具体的な事業内容としては、平成25年度完成予定の「歴史的都心地区」（四条通、河原町通、御池通及び烏丸通で囲まれた地区）に隣接する南側エリア及び西側のエリアにおいて、区画線の引き直しやカラーライン等による車線幅員の狭小化（路側帯の拡幅）を行うとともに、自転車通行部分の明示等を行う。</p> <p>【参考（他都市の状況・事業効果など）】</p> <p>「歩くまちゾーン」実証実験結果（平成24年3月1日～22日実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自転車の走行速度が1割程度低下 ○ 自動車、自転車、歩行者それぞれの通行位置が改善 <p>別途、都市計画局に同事業有り</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	岡崎地域活性化ビジョンの推進 ～左京区岡崎における神宮道と公園の再整備～		
予算額	185,800千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	建設企画部建設企画課(222-3551), 水と緑環境部緑政課(222-3589)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都市では、平成23年3月に岡崎地域活性化ビジョンを策定した。その中で、道路や公園、施設などのオープンスペースをつないで一体的に活用し、市民、地域の人々、来訪者に親しまれる、歩いて楽しい岡崎地域にふさわしい憩いの空間と賑わいの創出を図ることが掲げられている。</p> <p>本事業では、岡崎エリアのメインストリートである神宮道（冷泉通～二条通）を歩行者のための空間とし、隣接する公園と一体的に再整備するとともに、ロームシアター京都と一体性をもたせることにより、創造的で豊かなオープンスペースや優れた景観の形成、安全性と回遊性の向上を実現する。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成26年度は、パブリックコメント（募集期間：平成25年1月22日～2月20日）の結果を踏まえ、道路及び公園の詳細設計を行い、工事に着手する。</p> <p>工事完成予定：平成27年夏</p>			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	LED 道路照明灯の設置(更新・新設)											
予 算 額	877,000千円	新規・継続の別	継続									
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠									
担 当 課	土木管理部調整管理課 (222-3568)											
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 道路照明灯は、市民の皆様が安全で円滑に道路を通行するために必要不可欠なものであり、<u>現在、京都市では水銀灯や蛍光灯など約80,000灯の道路照明灯を管理している。</u> LED 道路照明灯については、価格の低下と性能の向上が進んでおり、従来の道路照明灯と比較して、CO2 排出量が低く長寿命化を図ることができる。 生活道路等において設置している市街灯（蛍光灯）については、平成24年度から、新設の際に LED 灯を導入しており、平成25年度からは、老朽化による器具更新の際にも、LED 灯に転換している。 また、主に幹線道路において使用している水銀灯についても、平成25年度から、新設・更新の際に LED 灯を導入している。 平成26年度以降は、取組のスピードアップを図り、蛍光灯については当初計画（～平成31年度完了）を3年前倒し、今後3年間（～平成28年度）で、水銀灯については今後2年間（～平成27年度）でLED化する。</p> <p>[事業概要] <u>平成26年度は、取組をスピードアップし、生活道路及び幹線道路において、LED 道路照明灯で新設・更新していく。</u></p> <p>(平成26年度新設・更新予定数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>新設</th> <th>更新</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蛍光灯</td> <td>800灯</td> <td>20,860灯</td> </tr> <tr> <td>水銀灯</td> <td>50灯</td> <td>1,110灯</td> </tr> </tbody> </table>					新設	更新	蛍光灯	800灯	20,860灯	水銀灯	50灯	1,110灯
	新設	更新										
蛍光灯	800灯	20,860灯										
水銀灯	50灯	1,110灯										
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]												

平成26年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 災害防除(道路に面する斜面等の防災対策)		
予 算 額	775,650千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠 局配分枠
担 当 課	土木管理部調整管理課 (222-3568)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 東日本大震災や近年多発する局地的集中豪雨等での被害を踏まえ、公共土木施設の防災・減災対策について迅速かつ効果的に取組を進めている。 取組に当たっては、「いのちを守る都市基盤防災・減災プロジェクト」として、橋りょうの耐震補強、道路に面する斜面等の防災対策や排水機場の耐震改修を重点的に推進するなど、災害に強いまちづくりの取組を強化している。</p> <p>【事業概要】 災害発生時の緊急輸送を円滑かつ確実にを行うため、緊急輸送道路に面する斜面等において、見直し後の防災カルテに基づき、路線の重要性及び緊急性を考慮して重点化を図りながら、落石、斜面崩壊等の災害を未然に防止する設計、工事を効率的、効果的に進める。</p> <p>実施箇所 57箇所（一般国道162号、一般国道367号など）</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】 防災カルテについて 山間部における道路防災対策として、平成8～9年度に災害発生の可能性のある箇所の調査点検を行い、地形や地質、危険度を評価した「防災カルテ」を作成したが、前回の調査点検から10年以上が経過していることから、現地の状況の変化に対応した見直しを進めている。(平成24年度：国道162号、国道367号、平成25年度：国道477号ほか62路線)</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト 排水機場耐震改修		
予 算 額	52,700千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	土木管理部調整管理課(222-3568)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>東日本大震災や近年多発する局地的集中豪雨等での被害を踏まえ、公共土木施設の防災・減災対策について迅速かつ効果的に取組を進めている。</p> <p>取組に当たっては、「いのちを守る都市基盤防災・減災プロジェクト」として、橋りょうの耐震補強、道路に面する斜面等の防災対策や排水機場の耐震改修を重点的に推進するなど、災害に強いまちづくりの取組を強化している。</p> <p>また、昨年台風18号では、初めて特別警報が出され、市内各所で浸水被害が発生する中、建設局所管のすべての排水機場が稼働し、浸水被害の防止や軽減に大きな役割を果たしたが、一方で、小栗栖排水機場のポンプの一時停止により周辺地域で発生した甚大な浸水被害を重く受け止め、二度とこうした事態が発生することがないよう、排水機場を適切に維持管理する必要がある。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>排水機場は浸水被害から都市を守るための重要な社会基盤施設であり、災害時においても、健全な都市機能が確保できるよう、耐震改修を計画的に進める。</p> <p>実施箇所 耐震改修工事（淀排水機場） 耐震設計 （三栖排水機場）</p>			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	いのちを守る都市基盤防災・減災対策プロジェクト いのちを守る橋りょう健全化プログラムの推進 (橋りょうの耐震補強・老朽化修繕)		
予 算 額	3,092,661 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠 局配分枠
担 当 課	土木管理部調整管理課 (222-3568) 道路建設部道路建設課 (222-3577)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 東日本大震災や近年多発する局地的集中豪雨等での被害を踏まえ、公共土木施設の防災・減災対策について迅速かつ効果的に取組を進めている。 取組に当たっては、「いのちを守る都市基盤防災・減災プロジェクト」として、橋りょうの耐震補強、道路に面する斜面等の防災対策や排水機場の耐震改修を重点的に推進するなど、災害に強いまちづくりの取組を強化している。 このような中、平成23年12月に策定した「いのちを守る橋りょう健全化プログラム」に基づき、耐震補強と老朽化修繕を効率的・効果的に進めている。 平成28年度までに、優先度の高い51橋(耐震補強：17橋、老朽化修繕：34橋)の対策完了を目指しており、これまでに51橋全ての対策に着手し、そのうち5橋の対策が完了している。</p> <p>[事業概要] 災害時における都市機能の確保を図るとともに、平常時においても市民生活を守るため、プログラムに基づいた耐震補強・老朽化修繕を計画的に進める。</p> <p>実施箇所 耐震補強 15橋(御池大橋、九条跨線橋など) 老朽化修繕 21橋(京川橋、丹波橋など)</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」 進捗状況

(平成26年1月末現在)



「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」 (第1期プログラム) では、

平成28年度までに、優先度の高い

「耐震補強」 17橋

「老朽化修繕」 34橋

の対策完了を目指します！！

進捗状況

優先度の高い51橋全ての対策に
着手しました！！ (平成26年1月)

(そのうち、5橋の対策が完了)

※
着手率
100%

平成28年度末までに完了させる橋りょうの 現在の実施状況 (耐震補強)

区名	橋りょう名	主な所在地	路線名	現在の状況
北区・左京区	北大路橋	左京区下鴨上川原町	国道367号	設計
左京区	徳成橋	左京区岡崎徳成町	京都環状線	設計
左京区	花園橋	左京区上高野山ノ橋町	岩倉山端線	設計
左京区・中京区	御池大橋	中京区上樺木町	二条停車場東山三条線	工事
東山区・南区	九条跨線橋	東山区本町14丁目	四ノ宮四ツ塚線	設計、工事
東山区・南区	陶化橋	東山区福稲川原町	河原町十条親月橋線	設計
山科区	射庭の上橋	山科区西野山射庭ノ上町	勤修寺今熊野線	設計
山科区	柳辻橋	山科区柳辻封シ川町	大宅西野山線(3)	設計
右京区	京北橋	右京区京北周山町	国道162号	設計
右京区	筒江橋	右京区京北上弓削町	国道162号	設計
右京区	出口橋	右京区京北五本松町	国道162号	設計
伏見区	納所橋	伏見区納所星柳	京都守口線	完了
伏見区	羽束師橋	伏見区羽束師鴨川町	伏見柳谷高槻線	設計
伏見区	三栖高架橋	伏見区三栖町四丁目	親月橋横大路線	工事
左京区	山端跨線橋	左京区山端大塚町	白川通(1)	設計
東山区	伏見街道跨線橋	東山区本町9丁目	本町通(1)	工事
山科区	大石道跨線橋	山科区上山花山久保町	大石道	設計

☆ 「耐震補強」
17橋のうち、
1橋 完了しました。

☆ 「老朽化修繕」
34橋のうち、
4橋 完了しました。

※着手率：第1期プログラムで完了
させる橋りょうのうち、設計・工事
に着手した割合を示しています。

平成28年度末までに完了させる橋りょうの 現在の実施状況 (老朽化修繕)

区名	橋りょう名	主な所在地	路線名	現在の状況
北区	中の町橋	北区小野中ノ町	国道162号	設計
左京区	大鷲3号橋	左京区岩倉大鷲町	上高野幡枝線	設計
左京区	開花橋	左京区花背大布施町	国道477号	工事
左京区	川岸橋	左京区山端川岸町	国道367号	設計
左京区	熊野橋	左京区聖護院蓮華蔵町	熊野道	設計
左京区	光砥口橋	左京区広河原能見町	久多広河原線	工事
左京区	御所谷橋	左京区岩倉長谷町	岩倉2号線	完了
左京区	地藏寺橋	左京区鞍馬本町	-	工事
左京区	蛸谷橋	左京区八瀬花尻町	国道367号	設計
左京区	戸寺橋	左京区大原戸寺町	国道367号	工事
中京区	三条橋	中京区西ノ京新建町	京都環状線	設計
中京区	高瀬川御池橋	中京区下丸屋町	二条停車場東山三条線	完了
中京区・左京区	二条大橋	中京区鉾田町	二条通	設計
東山区	菊屋橋	東山区石橋町	四ノ宮四ツ塚線	設計
山科区	四ノ宮高架橋	山科区四ノ宮泓	四ノ宮四ツ塚線	工事
山科区	高岩橋	山科区大塚高岩	山科大塚経17号線	完了
山科区	天神橋	山科区大塚大岩	山科大塚経30号線	完了
山科区	柳辻3号橋	山科区柳辻東濱	大宅西野山線(1)	設計
南区	上鳥羽橋	南区上鳥羽川端町	中山稲荷線	工事
右京区	堂の橋	右京区京北上弓削町	国道162号	設計
右京区	細野谷橋	右京区京北細野町	国道162号	設計
右京区	宮ノ辻橋	右京区京北細野町	国道162号	設計
右京区	一(無名)	右京区京北上弓削町	国道162号	設計
右京区	八幡橋	右京区梅ヶ畑向ノ地町	国道162号	設計
伏見区	池田橋	伏見区醍醐池田町	外環状線(1)	工事
伏見区	越前橋	伏見区越前町	清水町通	設計
伏見区	景勝橋	伏見区景勝町	木挽町通	設計
南区・伏見区	京川橋	伏見区中島河原田町	伏見向日線	工事
伏見区	師団橋	伏見区深草野田町	深草線149号線(1)	設計
伏見区	砂川橋	伏見区深草綿森町	中山稲荷線	設計
伏見区	丹波橋	伏見区丹波橋町	丹波橋通(1)	設計
伏見区	土橋	伏見区土橋町	伏見港京都停車場線	設計
伏見区	蓬萊橋	伏見区南浜町	納屋町通	設計
伏見区	南真幡木五号橋	伏見区竹田東小屋ノ内町	新城南宮道	設計

※納所橋は設計を行った結果、耐震性能を満足していることが確認できたため、工事を行わずに完了とします。

工 事 事 例

◎「耐震補強」

三栖高架橋 京阪本線，市道，東高瀬川をまたぐ長大橋



↑落橋防止装置を取付けました。

九条跨線橋 鴨川，疏水，JR奈良線，京阪本線，市道をまたぐ長大橋



橋脚



↑一部の橋脚を鋼板で補強しました。

◎「老朽化修繕」

御所谷橋 左京区岩倉長谷町にある長谷川をまたぐ橋りょう



↑老朽化した橋を，ボックスカルバートに架け替えました。

高瀬川御池橋 御池通にある高瀬川をまたぐ橋りょう



高欄

↑老朽化した上部工の一部を架け替えました。

設 計 事 例

北大路橋



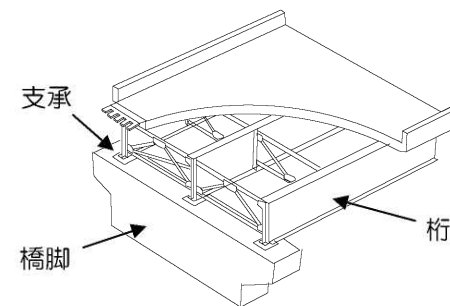
↑耐震補強等の設計をしています。

二条大橋



↑老朽化修繕等の設計をしています。

・橋りょうの部材の名称



平成26年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	市庁舎前広場における機械式地下自転車駐車場の整備		
予算額	138,800千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	土木管理部自転車政策課(222-3565)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 新市庁舎の整備により「寺町臨時自転車駐車場」を廃止することに伴い、現在利用されている自転車の受け入れ場所を確保すると同時に、都心部の放置自転車対策を推進する必要がある。 このため、市庁舎前広場の西側部分に、省スペースで大量収容が可能な機械式地下自転車駐車場2基を整備する。</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 場 所 市庁舎前広場の西側部分(別紙) ○ 収容台数 約400台 ○ 整備主体・運営管理 本市が整備し、指定管理者が運営管理を行う(指定管理者制度)。 ○ スケジュール 平成26年度 埋蔵文化財調査, 契約手続, 設計, 施工着手 平成27年度 供用開始, 寺町臨時自転車駐車場の閉鎖 			
【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】			

市庁舎前広場配置図 1:400

地下機械式駐輪場
イメージ図



地下機械式駐輪場 2基

本庁舎

正面玄関

西庁舎

ZEST入口

ZEST入口

管理事務所

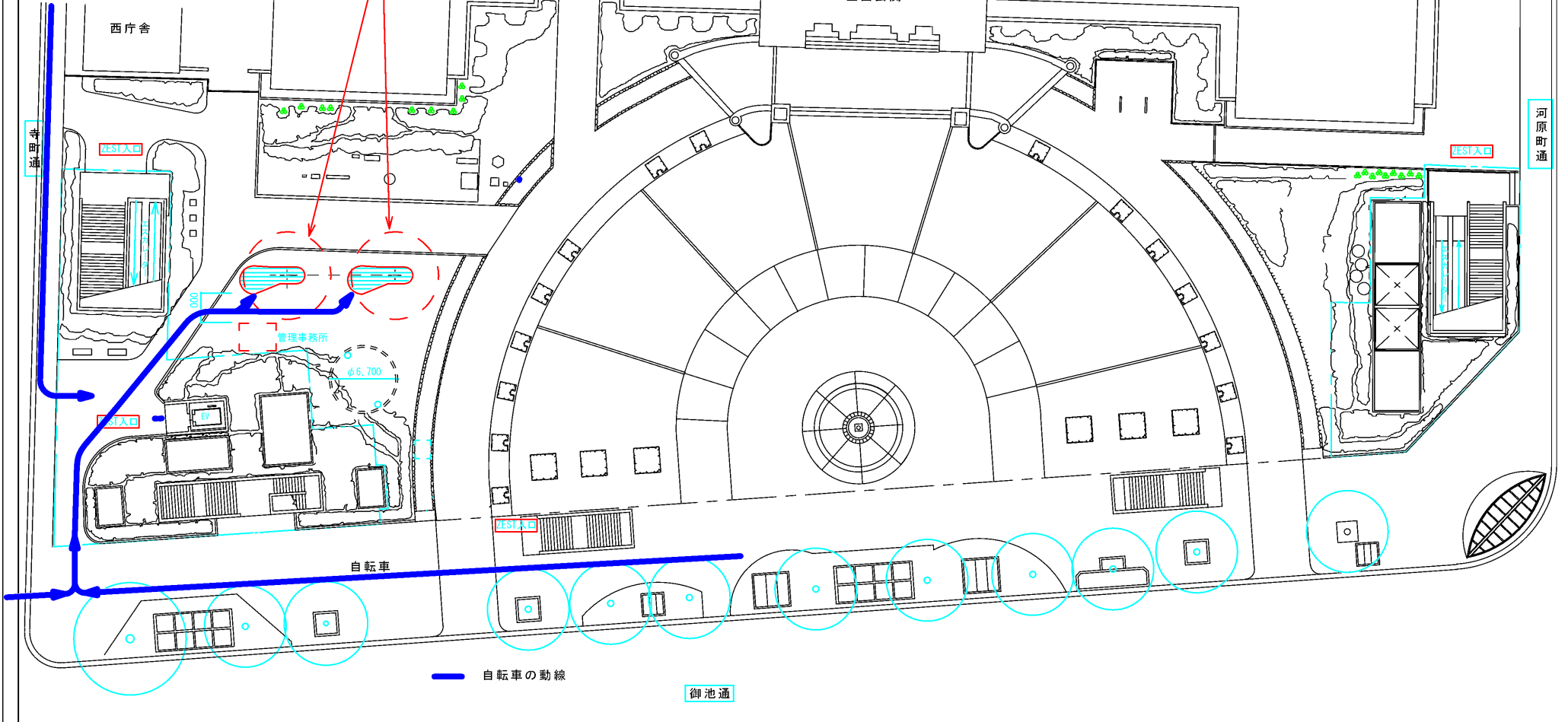
φ8,700

自転車

自転車の動線

御池通

河原町通



平成26年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	京都駅南口駅前広場の整備		
予 算 額	1,404,100 千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	道路建設部道路建設課 (222-3577)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>本市では、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現に向け、平成22年1月に「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定し、京都駅南口駅前広場整備を戦略のシンボルプロジェクトの一つとして位置付け、「歩くまち・京都」の玄関口にふさわしい機能や景観に配慮した駅前広場のリニューアル計画を進めている。</p> <p>南口駅前広場については、昭和39年の新幹線開通以来、時代の変化にあわせた大規模な整備が行われておらず、交通機関への乗換え利便性の向上など、その整備が長年の懸案となっていた。そのような中、平成22年度に2度にわたるパブリックコメント（市民意見募集）を実施し、市民の皆様や関係機関との共通認識の下、南口駅前広場の整備を着実に推進するため、各交通施設の配置等の要点を取りまとめた「京都駅南口駅前広場整備計画」を平成23年3月に策定した。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>本市最大のターミナル駅である京都駅の南口駅前広場において、交通機関への乗換え利便性の向上や、安全で快適な歩行空間の創出等により、「歩くまち・京都」の玄関口にふさわしい駅前広場の整備を推進する。</p> <p><u>平成26年度は、機械式地下自転車駐車場や駅前広場の整備を行うとともに、整備中を含めた駅前広場の適正な利用方法の検討及び管理等を行うマネジメント組織の運営等を行う。</u></p>			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p>			

平成26年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進 四条通歩道拡幅事業		
予 算 額	2,443,000千円	新規・継続 の別 政策的新規充実予算枠・ 局配分枠等の別	継 続 政策的新規充実予算枠
担 当 課	道路建設部道路環境整備課 (222-3570)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 本市では、京都の魅力と活力が凝縮した歴史的都心地区（四条通，河原町通，御池通，烏丸通で囲まれた地区）を中心とする「まちなか」において、四条通の歩道拡幅と公共交通優先化をはじめとする、安心・安全で快適な歩行空間の確保や賑わいの創出など、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を推進している。</p> <p>[事業概要] 四条通（四条大橋東詰～烏丸通）において、車線を4車線から2車線に減らし歩道を拡幅するとともに、バスが走りやすくなる歩道形態にするなど、公共交通の優先化を行い、安心・安全な歩行空間の確保と、路線バスの利便性向上を図る。 <u>平成26年度は、歩道の拡幅・舗装及び2車線化された車道の舗装を行う。</u></p>			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

路線名

主要府道 嵐山祇園線（四条通）

箇所図



24年度以前



25年度実施



26年度実施予定



27年度以降



工事（実線）



測試（破線）

平成26年度 京都市予算案 事業概要

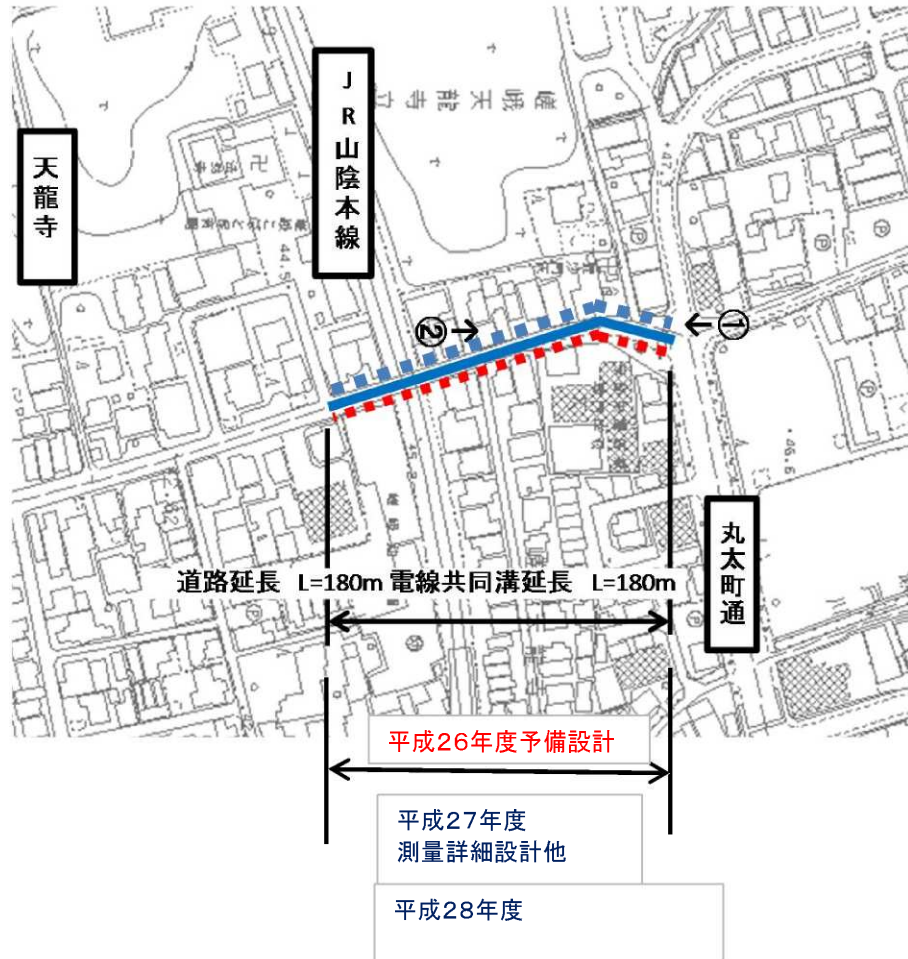
建設局

事務事業名	無電柱化等事業(宇多野嵐山山田線(長辻通)及び三条通(河原町通～三条大橋西詰))		
予算額	14,300千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	道路建設部道路環境整備課 (222-3570)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 京都市では、京都らしい景観の保全・再生，安全で快適な歩行空間の確保，災害時の避難・輸送経路の確保，情報通信ネットワークの信頼性の向上などを目的として，伝統的な町並みを有する地域や災害時の輸送経路となる幹線道路を中心に，電線類の地中化を推進している。 平成24年度実施状況：河原町通（御池通～三条通），上七軒通，松原通，愛宕街道，渡月橋南詰 平成25年度実施状況：松原通，愛宕街道，渡月橋南詰，小川通</p> <p>[事業概要] ◎ 宇多野嵐山山田線（長辻通）の電線共同溝の予備設計業務を行う。 本路線は，本市有数の観光地である嵯峨嵐山地区の渡月橋から嵯峨釈迦堂前へ連絡する観光道路であり，沿道に天龍寺，嵐電嵐山駅，オルゴール博物館等の観光資源を有するメインストリートとなっている。また，本事業箇所の北側，南側は共に既に無電柱化済路線であり，本事業を行うことにより，無電柱化の連続性と安全で快適な歩行空間の確保と都市景観及び都市防災の向上を図るものである。 ○ 事業区間：嵯峨釈迦堂大門町（丸太町通）～嵯峨鳥天龍寺瀬戸川町（JR踏切下る） ○ 道路延長：L＝180m ○ 電線共同溝延長：L＝180m ○ 業務内容：電線共同溝予備設計</p> <p>◎ 三条通（河原町通～三条大橋西詰）の電線共同溝の予備設計業務を行う。 本路線は，河原町通から京阪三条駅を結ぶ賑わいのある道路で，休日には，歩行者が車道に溢れている状況である。本事業を行うことにより，安全で快適な歩行空間の確保と都市景観及び都市防災の向上を図るものである。 ○ 事業区間：中京区大黒町（河原町通）～中京区中島町（三条大橋西詰） ○ 道路延長：L＝200m ○ 電線共同溝延長：L＝200m ○ 業務内容：電線共同溝予備設計</p>			
[参考(他都市の状況・事業効果など)]			

路線名

主要府道 宇多野嵐山山田線（長辻通）

箇所図



26年度実施予定



27年度以降



工事（実線）

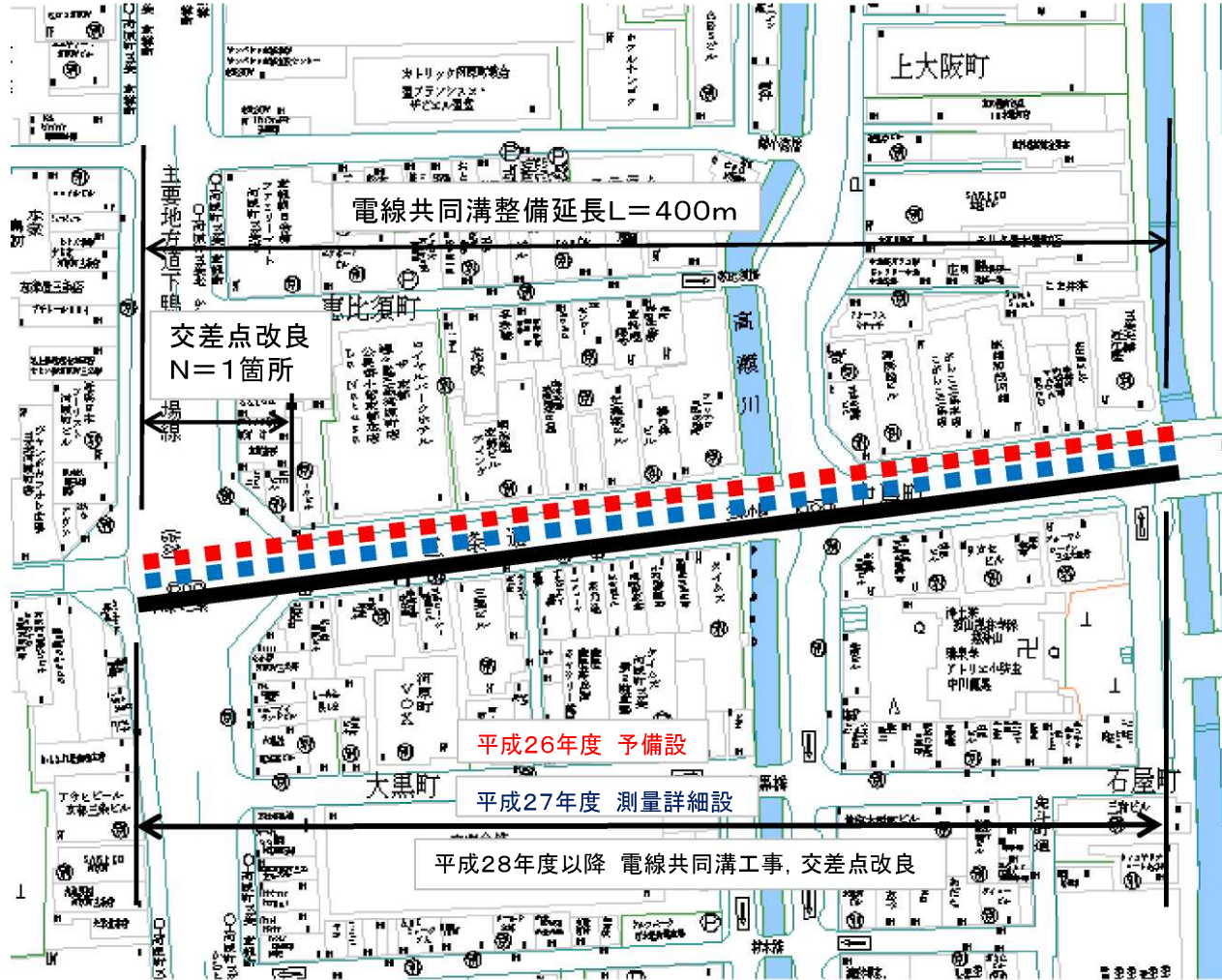


測試（破線）

路線名

無電柱化事業 一般市道 三条通

箇所図



- 24年以前
- 25年見込
- 26年要求
- 27年以降
- 工事 (実線)
- 測試 (破線)

平成26年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	花と緑あふれるまちづくり～緑視環境向上プロジェクト～		
予算額	464,000千円	新規・継続 の別	継 続
		政策的新規充実予算枠・ 局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠 局配分枠等
担当課	水と緑環境部緑政課(222-3589)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 平成22年3月に策定した「京都市緑の基本計画」を推進するため、「緑視環境の向上」を重点テーマに、次の事業に取り組む。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>○紅葉景観創造事業(平成26年度予算額 56,400千円) 緑の質を向上させ、緑豊かな歩いて楽しいまちづくりを推進するため、<u>老朽化が進み、近年、特有の害虫(プラタナスグンバイ)による被害が深刻化しているスズケカノキを、美しく紅葉する樹種に植え替える。</u> 平成26年度は、東大路通(北大路通～丸太町通間)をイチョウに、西大路通(丸太町通～十条通)をモミジバフウに、約140本の植替えを行う。</p> <p>○街路樹整備事業～花の道づくり～(平成26年度予算額 109,000千円) 観光地周辺や公園緑地等につながる幹線道路等において、「緑のネットワーク」を形成し、花木による名所づくりを行うことにより、まちなかに潤いをもたらすとともに、<u>花と緑豊かな歩いて楽しいまちづくりを推進するため、街路樹のない歩道への花木の植栽や、老朽化等が進行している街路樹の花木への植替えを行う。</u> 平成26年度は、七条通(JR山陰本線～大宮通)、紫明通(堀川通～加茂街道)、新城南宮道(油小路通～近鉄京都線)で、高木約80本、低木約16,400株の植栽等を行う。</p> <p>○街路樹整備事業～道路の森づくり～(平成26年度予算額 232,200千円) 都市緑化の推進を図り、街路樹に被われた「道路の森」を目指し、<u>低木植栽のみとなっている既存道路の中央分離帯に新たに高木を植栽する。</u> 平成26年度は、西大路通(JR山陰線～九条通)、北山通(旭丘中学校付近～紫竹西通)、新城南宮道(西高瀬川～千本通)で、ケヤキほか約216本の植栽を行う。</p> <p>○ケヤキ並木保全・創造プロジェクト(平成26年度予算額 26,000千円) ケヤキの老朽化及び大径化が進む中、<u>主要路線のケヤキ樹勢診断調査を行い、老朽化したケヤキの植替えや新規の植栽などを行い、ケヤキ並木の保全・創造を目指す。</u>(現況約3,500本) 平成26年度は、平成25年度に実施した樹勢診断調査結果に基づき、ケヤキの更新</p>			

や樹勢回復などを行う。

○桜景観創造プロジェクト（平成26年度予算額 20,400千円）

平成22年度に実施した桜並木の樹勢診断調査の結果に基づき、これまでに樹勢が衰えている150本のサクラ（ソメイヨシノ等）の更新が完了した。

平成26年度は、琵琶湖疏水沿（岡崎）などで樹勢診断調査を実施し、その結果を基に約50本の更新を行う。

○市民公募型緑化推進事業（平成26年度予算額 20,000千円）

平成26年度は、平成25年度に行った市民意見公募の結果を基に、市民との協働により緑化を進めることができる場所において緑化整備を行う。

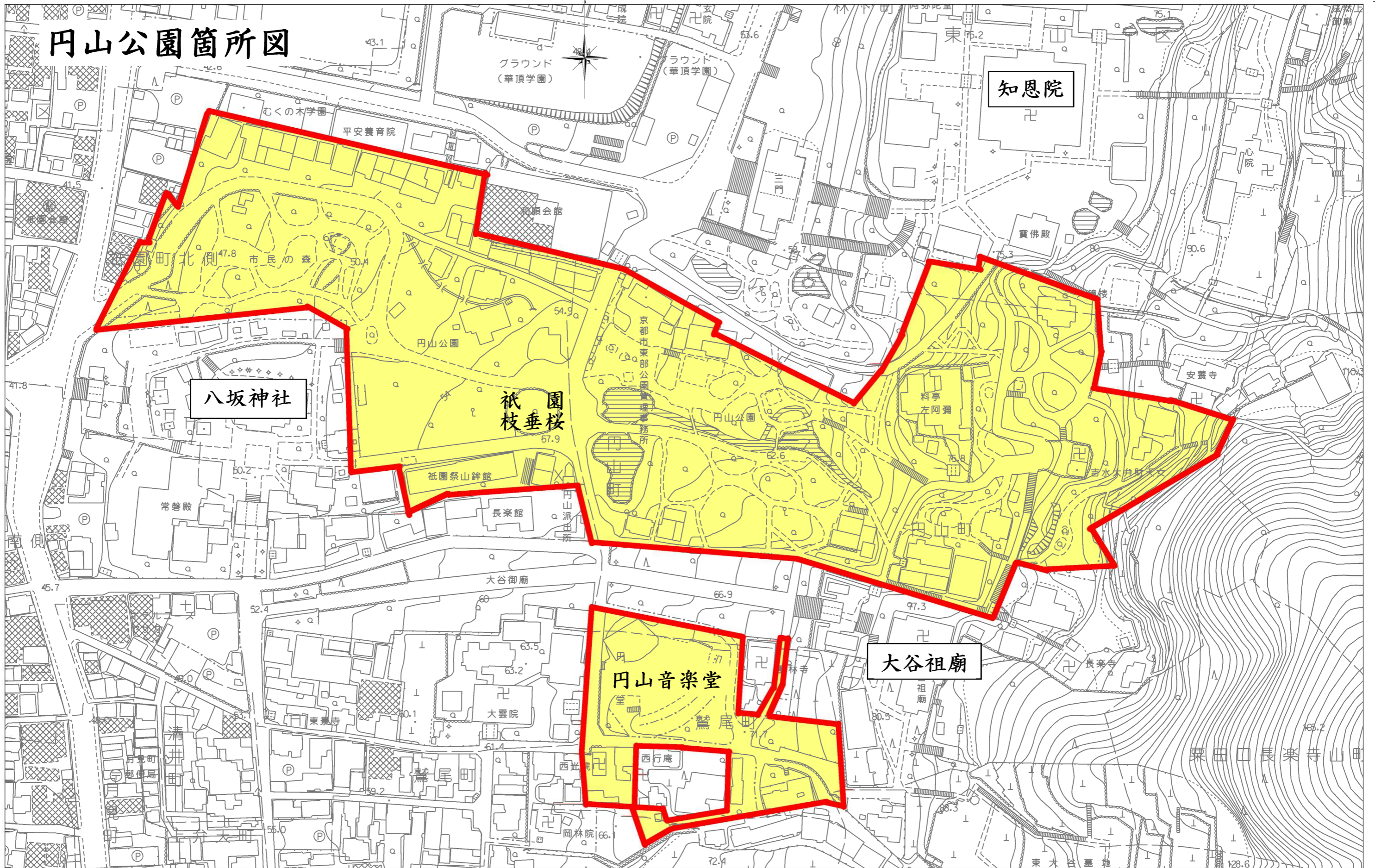
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]

平成26年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	名勝円山公園保存管理計画策定		
予 算 額	3,200千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実 予算枠
担 当 課	水と緑環境部緑政課 (222-3589)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 京都市の貴重な文化遺産である名勝円山公園（面積86,641㎡、明治19年開園）は、開園から128年が経過し、施設が老朽化するとともに、樹木の成長により園内からの東山の視認性が悪化しているなど、名勝地及び観光地として様々な課題が生じている。 このような中、円山公園の歴史的環境を適切に保存・管理するための方針や方法等、将来的に必要な再整備を行うための指針となる保存管理計画を平成26、27年度の2箇年で策定する。</p> <p>【事業概要】 課題への対応策や、さらに多くの市民や観光客の方々に親しんでいただける手法等を盛り込んだ保存管理計画を策定し、国の「史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備費 国庫補助（50%）」を活用した再整備（修復）を行うとともに、適切な管理の方向性を確立する。 平成26年度は、保存管理計画の策定のための現況調査、分析、検討委員会を開催し、平成27年度に方針のとりまとめを行うとともに、計画を策定する。 再整備（修復）については、開園130周年となる平成28年度から着手する。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

円山公園箇所図



平成26年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	普通河川緊急対策事業		
予算額	75,800 千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担当課	水と緑環境部河川整備課（222－3591）		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>京都市が管理する普通河川は、河川の流域が狭く、降った雨が短時間で河川に流れ込む傾向にあるため、特に、短期間の局地的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）によって増水する危険性があり、河川改修等による浸水対策の実施は喫緊の課題となっている。</p> <p>しかしながら、河川改修は、多額の費用と時間を要し、上流部の改修の影響で下流が氾濫することがないように下流側から順次整備を進める必要があるため、事業期間が長期に及ぶ。</p> <p>このような中、平成24年8月に宇治市等で発生した浸水被害を受け、浚渫、護岸補修等の浸水予防緊急対策を実施するとともに、過去30年間に浸水被害が発生した河川のうち、まだ本格的な対策に着手できていない8つの河川を対象とし、降雨に対する河川の安全の度合いを調べる、より専門的な治水安全度調査を行い、河川ごとの特性を踏まえた整備方針を定めた「普通河川整備プログラム」を平成25年10月に策定した。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>「普通河川整備プログラム」に基づき、護岸のかさ上げなど局所的な対策で治水安全度の向上を図る工事や、抜本的な河川改修等の事業実施に向けた設計を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 護岸のかさ上げ等・・・宇多川，荒木川，谷田川 ・ 設計等業務委託・・・奥殿川，竹田川，泉川，西ノ川，千代原川 			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p>			

普通河川緊急対策事業 対象河川一覧

